

Tomorrow

トゥモロー便り第16号・2018年6月発行

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター
がん相談支援センターがんサロントゥモロー
ピアサポーター's 発行



*がん治療での薬剤師 間瀬広樹 副薬剤部長

こんにちは。

がん専門薬剤師って知っていますか？

年々、がん医療は、大きく進歩しているため、薬剤師の専門性を活かしたよりよい安全な医療を提供するために、がん薬物療法等について高度な知識・技術と臨床経験を備える薬剤師の養成が必要となり、2005年よりがん専門薬剤師の認定制度が始まりました。金沢医療センターでは、現在、3名のがん専門薬剤師がいます。

がん治療はがん専門薬剤師だけでなく、薬剤部全体でみなさんが安心・安全な治療を受けられるようにサポートしています。薬剤師は、抗がん剤の調製や薬の説明（服薬指導）だけでなく、レジメンという治療に必要な治療薬の投与量や期間、副作用対策などが間違っていないかを確認する治療計画を作成したり、**服薬指導を通じて皆さんが不安や困っていることを解決するために薬の提案もしています。**

皆さんの中で困っていることなどがありましたら、相談して頂けたらと思います。

私の出身は愛知県半田市亀崎町です。ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に登録された潮干祭りが行われるところです。石川県も青柏祭の曳山行事が登録されているので、こちらにいる時に見に行きたいと思っています。見どころや隠れ雑学があれば教えてくださいと嬉しいです。



* 臥せる今 寒暖分からず 周りきよろ

* 頑張り 頑張る頑張れが 重い時もある



〈ちょっと良いことがありました〉

先日、幼稚園の親子遠足でいしかわ動物園に行きました。いつ雨が降るかわからない曇り空のもと、雨具を持っての遠足となりました。園内を歩いていると、ちょうどクジャクがきれいな羽を広げているところでした。初めて見た子供たちと私は感動！！クジャクは曇りの日に羽を広げるそうで、貴重な場面に出会うことができました。帰宅途中に雨が降り始め長女と「きれいだったね、良いことあったね♪」と言い合いながら、クジャクの絵を描きました。遠足の素敵な思い出が出来ました。

看護師 榎江梨子

がんになって

がんになると本人は勿論、家族の方の生活も一変します。病気を受け入れるまでの時間は個人差があり本人や家族にも差があります。患者さんが治療や療養中は**家族も自分の生活**を大事にすることが大切です。家族も心身を休める事、必要な時はいつでも、支援を受けることが大切です。まず、家族も支援を受けていいのだという事、そして支援を受ける事の重要性を知っておいてください。

あなたを支え、あなたと共に患者さんを支えてくれる人が必ずいます。心身ともに疲労してつらくなる前に、自分が話しやすい相手に、自分の気持ちを打ち明けてみてください。そして支援を求めて下さい。

思いを打ち明ける相手は、他の家族や友人が多いと思いますが、ほかに相談できる所としては、看護師さんやソーシャルワーカーさんの医療者、そして最も利用して頂きたいのは**がん相談支援センター**です。治療の事、治療後の事、仕事の事、生活の事、誰でも無料で利用できます。(がん診療連携拠点病院の中にあります・主にがん治療が出来る病院にあり)

国立がん研究センターがん対策情報センター 参照



今後の予定

何れの日も 13:30~15:30

- 6月23日(土) 「^{もえ}萌の会」との交流会 (代表 和田真由美)
主に血液疾患のかたの集いです。
- 7月9日(月) なつかしい音(ネ) ♪ ハーモニカ演奏 ♪ オヤジバンド F&6
聞いて歌って一緒に楽しもう
- 8月22日(水) 爪、皮膚のケアについて 担当看護師 坂倉、榎。

雑耳 だんだんと暑くなってきました水分補給を忘れずにしましょう。

自動車内も暑くなります、エアコン使用中は身体に冷風を直接当てないようにし、長時間乗車の時は設定温度を途中で0.5~1度高めにすると体に良いと思います。車も暑いのが苦手です、出発前に水をかけて車体を冷やしてから出発すると冷房効率が良くなります。(燃費も5%位良くなりますよ)